

海外邦人安全対策連絡協議会（議事要旨）

2026年4月14日（火）11:00-12:30

1 開催の挨拶

（J J C）

海外邦人安全対策連絡協議会は、コロナ禍以降はオンラインでの開催が続いていたため、なかなか会員の方どうしが顔を合わせる機会も少ない状況であることから、大使館とも相談し、ちょうど年度が変わった4月の時期に合わせて、本日、対面での開催とさせていただいた。

2 大使館からの報告等

（総括公使）

今回は、J J Cから挨拶があったように、一年に一度は対面での開催があってもいいのでは、ということで、実際に同じ空気の中でふれあうことで仕事のしやすさや情報共有のしやすさといったものが芽生えて良いのではないかと、私も当館での開催に賛同した次第である。

この国特有の内政問題、治安に関わる話、犯罪に関わる話や、未だに残っているテロの温床があり、当国のイスラム圏という風土の中で、昨今の中東情勢を初めとする国際情勢がどのような形で当国に及ぶのか、様々な面で皆様の仕事や日々の生活に影響が出てくる局面があるかと思われる。そういった観点から、お集まりいただいた海安協委員の方々には、我々が持っていない危機意識や情報をお持ちであると思うし、皆様も持っていない情報を我々は持っているの、このような場で情報共有できたらよいと思っている。

昨年8月に起きた暴動や過去のコロナなど、いろいろな形で皆様の日々の生活に影響が出てどうでしょうかというときに、この場で解決できる、そういったことができればよいかと思っているので、是非、我々も活用させていただきたいし、皆様も活用していただく、そのような形で運営できたらと思っている。

今年も8月の独立記念日や、中東情勢のエネルギー価格に与える影響など、安全対策に係るリスクを挙げたらきりが無いが、そのような中で皆様と協力しながら当会議を運営できたらと考えている。

（医務官）

注意喚起：感染症情報（麻疹の流行状況）

インドネシア国内での麻疹は2025年後半から急増している状況で、現状としては、3月22日時点で16,355件の確定例及び10件の死亡例が報告されている。昨年は11,000件程度の確定例及び69件の死亡例であった。

保健省でもワクチン接種のキャンペーンを行っており、次第に効果は出てきているが、まだ感染は続いている状況である。日本国内でも感染が増加している状況で注意喚起されているが、2回のワクチン接種が推奨されている。もし、ワクチン接種をしていない方がいれば、抗体を検査して、抗体値が低ければワクチン接種することを検討していただきたい。

また、もし、上記のようなワクチン接種歴2回がないような方で、麻疹患者との接触があった場合には、3日以内にワクチンを接種すると発症するリスクが低下すると言われていているので、そのような場合には早急に医療機関を受診することを検討していただきたい。

追記：麻疹・風疹ワクチン（MR）、麻疹・おたふく・風疹ワクチン（MMR）は生ワクチンのため、妊婦の接種はできない。また、生ワクチン接種後2か月程度は妊娠を避ける。

（警備班）

注意喚起：スマートフォンのひったくり事案について

2月中旬から3月中旬にかけて、邦人被害にかかるひったくりが未遂を含めて5件も発生した。大使館で把握していない被害も相当数あるものと思われる。

ラマダンからレバラン休暇にかけての時期は特に犯罪が多発する傾向にあるが、ひったくり被害については一年中発生しているため、今一度気をつけていただきたい。

「安全等に関する参考情報」に記載したこれら被害の特徴は、中央ジャカルタのタムリン通りやスディルマン通りの歩道で発生している。歩道の広い通りであるからといって安心はせず、車道側を歩かない、スマートフォンはカバンにしまっておくなど、予防策を徹底していただきたい。

（領事部）

注意喚起：中東情勢を踏まえた注意喚起

昨今の中東情勢の緊迫化を踏まえ、インドネシア国内においても不測の影響にご留意いただきたい。当地においても、中東情勢の緊張を背景とするデモや集会が、アメリカ大使館やイラン大使館前で頻繁に行われている。現時点において、邦人への具体的な脅威情報はないが、引き続き最新情報確認に努め、デモや集会

には近づかないようにしていただきたい。

注意喚起：在留届の提出

海外に3か月以上滞在する方は在留届を提出する義務がある。

4月の異動の時期でもあるので、まだ提出されていない方は速やかに提出するようご案内いただきたい。また、住所や電話番号などの届出事項に変更が生じた際には変更届を、日本への本帰国や他国への転居をする際には帰国・転出届を提出していただきたい。事件・事故、災害時の安否確認など、いざというときに正確な届出が重要となる。

なお、出張や旅行などでインドネシア以外の第三国に短期渡航される場合には、滞在先の安全情報をメールで受け取れる「たびレジ」にもご登録いただきたい。

参考情報：領事・査証手数料の改定及び今後の予定

4月1日にインドネシア国内公館における領事・査証手数料が改定された。詳細は当館ホームページをご参照いただきたい。

今年度は7月1日に旅券及び査証手数料が大幅に変更される予定。旅券については、10年旅券が現行の16,300円から7,000円値下げとなり、9,300円となる予定、18歳以上の5年旅券については廃止される予定である。

査証については、一次査証（シングル）については、現行の3,000円から15,000円、数次査証（マルチ）については、現行の6,000円から30,000円とそれぞれ5倍に値上げされる予定。

3 出席者からのコメント、各社・団体からの報告等

■企業

明日4月15日水曜日午前8時から、カラワン県内の工業団地、スルヤ地区、カラワン工業団地 KIIC 含め、各工業団地内の参加者を集め、カラワン県の労働局に向かうデモの情報が出ている。デモ参加者の労働団体からはかなりの人数が集まるということであり、各工業団地またはカラワン方面に向かう予定の方はご注意ください。デモの要求であるが、2020年の見習い制度（Magang 制度）に関する大臣令の廃止・撤回、失業率削減に対する県への要請、中東情勢の影響による人員削減の拒否などを要求するとのことである。

■企業

詐欺関連。弊社従業員（駐在歴はさほど長くない）がスナヤン地区のゴルフ場を Google マップに掲載されている WhatsApp 番号で予約したところ、4 Juta ルピアを QRIS で支払うよう案内されたので支払った。その際、領収書が欲しい旨伝えたところ、再度、QRIS の QR コードが送られてきたので怪しいと思い、直接ゴルフ場に掛け合ったところ、そのような話はないということであった。

Google マップ上の電話番号もあまり信用できないのでご注意ください。

■ジャカルタ日本人学校

先週木曜日にジャカルタ日本人学校の入学式、金曜日にチカラン日本人学校の入学式が行われ、そして、本日、ジャカルタ日本人学校幼稚部の入園式が行われている。ジャカルタ日本人学校では、教員が 20 名新たに着任し、その家族も一緒に 15 名が赴任したので、合計 35 名が一挙に赴任した状況である。安全意識や海外の事情把握がまだ十分ではないので、しっかりと指導していき、ジャカルタの生活に早く慣れてもらいたいと思っている。

■企業

衛生関係。当社社員が手の甲を刺され、最初はただのかゆみだけであったが、だんだんと悪寒や異常なほどの倦怠感が出たためクリニックを受診したところ、チクングニア熱ウイルスに感染していたことが判明した。蚊に刺されるのは防ぎようもないことであるが、デング熱とともにこのようなウイルスもあることを情報共有させていただきたい。

■国際交流基金

当組織では、インドネシアの高校に日本語アシスタントを送る日本語パートナーズ派遣事業を行っているのだが、昨年 11 月末にスマトラ島北部で大規模な洪水が発生した際、メダンに 6 名のパートナーズの者が住んでおり、そのうち 5 名の住居が冠水し移動できなくなった。当時は在メダン日本総領事館の方とも連絡を取っていたが、当組織のスタッフの一人が、インドネシア救難庁（バサルナス）と連絡を取ったところ、急遽助けてもらえることとなり、バサルナスのスタッフがボートでアパートまで来てくれ、別のホテルに避難することができた。その時は偶然にも当スタッフがバサルナスのスタッフと知り合いだったのでお願いすることができたものの、今後、このような冠水や洪水が発生して住居から逃げられなくなった場合にどのような手順で大使館・領事館と連絡を取って対応していけばよいか、何かアドバイスがあればお伺いしたい。

（大使館領事部）

一次的には現地の救難当局の支援を求めていただくことになるが、特に確立された緊急連絡システムがあるわけではないので、その時の状況に応じて、あらゆる手段をとっていただくのが肝要。いずれにしても、大使館・総領事館とは早急に連絡をとっていただき、緊密な情報共有の体制を作り、必要に応じて大使館・総領事館が有するルートで現地救難当局へアプローチすることも考えられると思う。

(JICA)

スマトラの洪水であるが、当方の関係者も8名が孤立状態になった。在メダン日本総領事館の安全管理担当から第一報をいただき、それで我々も大変な状況に陥っていることを把握した。その際には、在メダン日本総領事館の方とWhatsAppでグループチャットを作り、毎回電話ではなく、すぐにコミュニケーションを取れる環境を整え、我々がやらなければいけないこと、大使館がやってくれることを明確にして事を進めていった。その時、正直我々も感じたのは、ジャカルタ近辺の安全情報は、民間のセキュリティ会社とも連携しているので情報が取れるが、地方の情報はなかなかタイムリーに取れず、そういう時に総領事館の方から情報をいただくということが非常に重要になってくるので、その連絡先を常にきちんと持つておくということが、環境整備という点で本当に大切なところであると感じた。

■企業

ここ1、2か月の間に、私の携帯電話番号に不審な電話がたくさんかかってきており、間違って電話に出たとき、先方は私の名前など個人情報を知っていた。「この番号は何者か」というのを後で投稿し、情報を皆で共有するアプリが私の携帯に入っている。着信があるとアプリが起動し、「その番号はオンラインカジノである」とか、「スパムである」などの情報がぱっと出るアプリがあるので情報共有させていただきたい。

■企業

麻疹(はしか)は英語でMeasles(ミーズルズ)と言うのか、それともRubella(ルベラ)と言うのか、ルベラというのは風疹なのか、麻疹で皆認識しているが、診断書にはルベラと書いてあるということがあり、どちらの認識か分からなかったのも、危険性も含めて確認したい。

(大使館医務官)

麻疹がミーズルズで、風疹がルベラである。危険性で言うと、風疹は三日麻疹(みっかばしか)と言われていたように、麻疹よりも少し軽い症状になる。麻疹に関してはワクチン接種していない乳児や幼児が感染するとかなり致命率

が高く、肺炎を起こすといった症状となる。また、大人が感染すると脳炎などを発症することもある。最近では、インドネシアの若い医師がおそらく脳炎かと思うが亡くなった事が報道されていた。風疹に関して言うと、麻疹に比してそれほど致死率は高くはないが、妊婦が罹ると胎児にも感染し、風疹症候群という聴力が落ちたり心臓に奇形が起こったりすることがある。今回、ミーズルズカルベラか診断名が分からないということであるが、血液検査で抗体を調べないと臨床症状では区別が付きにくいということはあるものの、どちらにしてもMRワクチンという形で予防は可能である。

■企業

スカルノ・ハッタ空港での入国時に、All Indonesia というアプリでの事前登録が到着時に必須となったが、ある日突然、何の連絡もなく All Indonesia に登録していないと入管の自動化ゲートが通れなくなったことが少し前にあったので、出張者の方などには忘れずに登録するようお伝えいただきたい。

4 次回の開催予定等

次回開催は6月9日（火）の11時からオンライン会議を予定。

※5月12日（火）の開催に関しては、5月初めに開催要望をお伺いします。